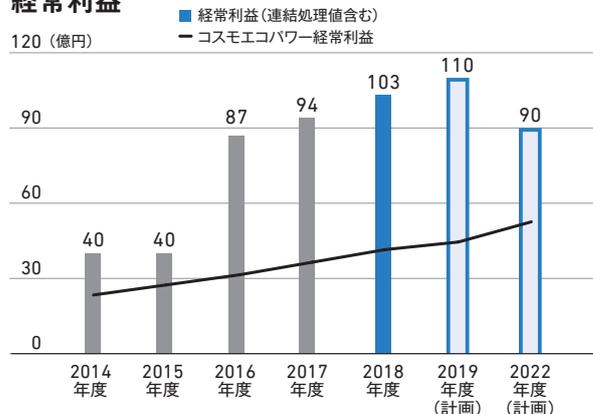


再生可能 エネルギー事業等



RENEWABLE ENERGY BUSINESS AND OTHERS

経常利益



強み

- 風力発電事業のパイオニア(1997年創業)であるエコ・パワー(現コスモエコパワー)を2010年にグループ化
- 開発、建設、運営、メンテナンスをコスモエネルギーグループ内で実施することで、高いレベルの利用可能率(90%以上)を実現
- 全国展開により地域毎の風況変動リスクを低減し、収益の安定性を確保
- 陸上サイトの拡大に加え、洋上サイトプロジェクトへの参画など、長期的な事業拡大をめざす

風力発電事業を取り巻く環境

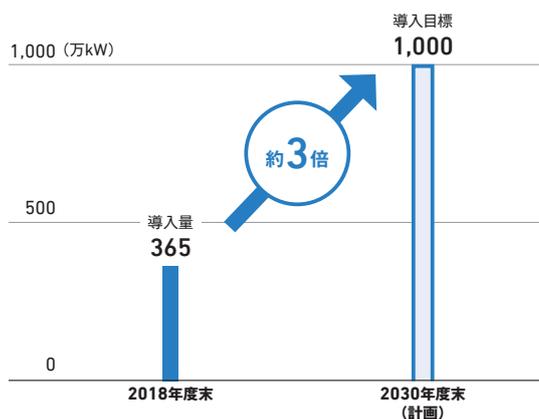
再生可能エネルギーは、脱炭素の世界的な潮流の中、我が国においても今後大きな成長が期待される事業です。

なかでも風力発電は、経済産業省によれば、国内の電源構成に占める2030年の風力発電比率は2017年比で約3倍(1,000万kW)に及ぶと想定されております。

加えて、2012年度に導入された固定価格買取制度(FIT)により20年間にわたって、安定した収益が見込まれています。

一方で、適地選定や地域住民との対話、環境アセスメント(環境影響評価)など高度な専門性が求められるため、新規参入が難しい事業です。

国内風力発電の導入量及び導入目標



※経済産業省「長期エネルギー需給見通し(2015年7月公表)」及び経済産業省「再生可能エネルギー電子申請サイト」をもとに作成



2018年度実績

風力発電設備が順調な稼働を継続した結果、9期連続の増収となり経常利益は103億円(前年比+9億円)となりました。

2019年度見通しに関して

2019年4月より度会2期(三重県、2万2千kW)、姫神(岩手県、1万8千kW)両風力発電所の運転開始などが寄与し、2019年度の経常利益は110億円(前年比+7億円)を見込んでおります。

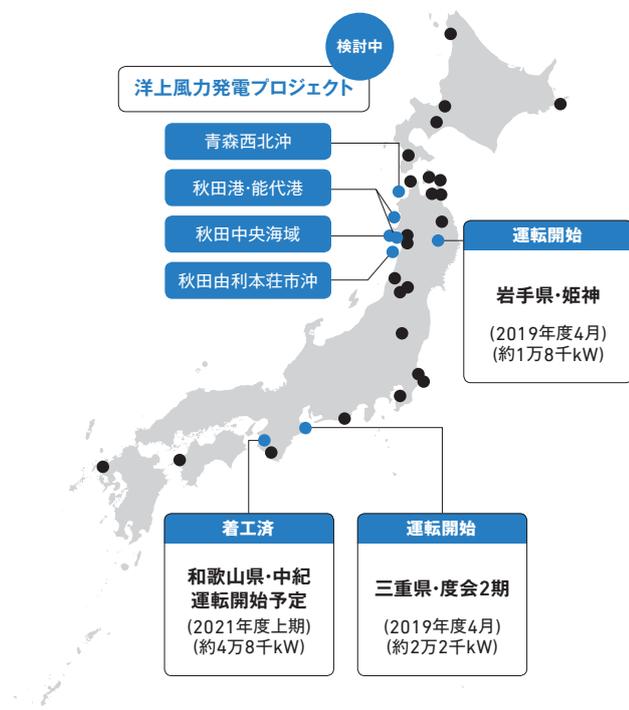
日本初の風力発電専門企業コスモエコパワー

当社グループでは、2010年に日本初の風力発電専門企業であるエコ・パワー(現コスモエコパワー)(1997年創業)をグループ化しました。グループ化した後、既存サイトのメンテナンスや、新規風力発電所の立ち上げなどに積極的に取り組み、着実に発電容量と収益を上げ成長しております。

現在では、24地域において26.7万kWの発電容量を有し、業界内でも高いシェアを保有しております。また、コスモエコパワー社の経験豊富な人材と高い技術力で90%を超える高い利用可能率[※]を実現し、安全・安定稼働を維持しております。

今後は、2021年度の運転開始に向け、中紀(和歌山県、4万8千kW)風力発電所の新規開発を着実に推進し、中計最終年度である2022年度には、風力発電能力40万kW体制をめざしてまいります。

※1年間の内、風が吹けば発電できる状態(スタンバイ状態)にある時間の割合



洋上風力発電のリーディングカンパニーへ

コスモエコパワー社は、陸上風力だけでなく、洋上風力発電事業への進出を図り、日本における同分野のリーディングカンパニーをめざしております。現在は、主に秋田港・能代港湾海域、秋田洋上風力由利本荘市沖、秋田中央海域及び、青森西北沖洋上風力発電事業のプロジェクトについて実現に向けた検討を進めております。

引き続き、風力発電所建設計画を着実に実行し、発電容量を増強するとともに、更なる新規風力発電設備の建設を検討してまいります。

全国風力発電能力の見込み

